

常盤台一・二丁目町会

私たち常盤台一・二丁目町会は住宅地として開発される以前は富士見街道（S B通り）沿いに民家が2・3軒あるだけの「前野っ原」と呼ばれる農地でした。大正3年東上鉄道（今の東武東上線）が開通。昭和10年10月20日には「武蔵常盤」今の「常盤台駅」が開業。昭和26年に現在のひらがなの「ときわ台」と改称されました。昭和11年に常盤台住宅地分譲を開始。昭和13年に町会組織郷会（後の常盤台一・二丁目町会）が結成されました。

現在、常盤台一・二丁目町会では1年の予定として、新年会、成人式、桜まつり、日帰り旅行、ラジオ体操、秋の大祭、1年中の町内パトロールを行っています。防犯カメラを2016年に東京都と板橋区の両方の助成金で町内に24台設置稼働中です。そして、板橋区公認「板橋プロレス」を年1回常盤台小学校で開催させていただいております。それでも約2000世帯のうち会員数が30%の700世帯ほどです。町会の役員、お手伝いしていただける方の募集に苦慮しています。地震、台風に対する防災、防犯にご理解ご協力よろしくお願いいたします。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています